

『高校生からの学び』

◇1月25日(木)、『瑞浪高校普通科実践活動発表会』が文化センターで開催されました。今年度から、コロナ禍前のように市内の中学2年生が発表会に招待され、高校生の発表を聴く機会を設けていただきました。

他校の発表、まして高校生の発表を聴く機会など、滅多にありません。高校生の実行力の高さ、自信をもった発表の姿など、学ぶところが多かったと思います。

『総合的な学習の時間』の発表を控える2年生にとって、まとめ方、伝え方など、どのように生かしていくのか楽しみです。

また、3年生への視野が少しずつ広がりつつある今、高校生になるにあたって、どんな力をつけておく必要があるか、何を大切にしながら進路選択すべきか、というところまで考えが及んでいる感想もありました。(感想の抜粋は以下に掲載します。)

瑞浪高校の皆さん、貴重な機会を設けていただきまして、ありがとうございました。

(右の写真は使用許諾済)

【生徒の感想】

☆先日は『卒業制作・実践発表会』を拝見させていただき、ありがとうございます。どの発表もわかりやすく具体的だったので、「瑞浪高校ってすごいな。」と思いました。私が特にすごいと思ったところは、発表者の方が大勢の前で堂々と発表していたところです。噛んでしまっても、堂々と発表している姿がとても格好いいと思いました。

☆発表を聞いて、自分たちが暮らす町に対して、貢献したいという思いが強いことが感じられました。まだあまり知られていないものをたくさんの人知ってもらうために、目を引くスライドや続きが気になる話など、高校生はすごいなと感じました。また、自ら足を運んで実際に見たり、調理実習や試作を何度もしたりする行動力があったから、もっとよくしたいという思いを実行に移すことができていると感じました。行動することの大切さが学びました。自分の気持ちや考えを聞いている人に向けて堂々と伝える姿は取り入れたいです。

